

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図るデジタル・シティズンシップ教育の推進」～生成AIを通して～

授業実践例 5・6年（総合）：生成AIとの向き合い、情報の扱い方を考える

学習の流れとねらい

桃太郎の物語を読み、自分が桃太郎の立場になって3匹の家来の評価をつけ、ChatGPTの考えた評価と比較する。生成AIの回答が必ずしも正しいわけではないことを学び、生成AIはじめネット等で得た情報の扱い方を考える。

Google スライド



3匹の家来の活躍度を考える。

自分で評価



桃太郎の3匹の家来



3匹の家来の活躍を評価し、順位をつけよう

どうしてそういう順位になるかの根拠（理由となる事実）も考え、発表できるように

<p>Monkey-Kami Trading Card</p> <p>イヌ</p> <p>私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）</p>	<p>Monkey-Kami Trading Card</p> <p>サル</p> <p>私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）</p>	<p>Monkey-Kami Trading Card</p> <p>キジ</p> <p>私が考える活躍（かつやく）の3段階評価（ひょうか）</p>
★ ★ ★	★ ★ ★	★ ★ ★



生成AIの出した答えと自分たちの答えを比較する。

生成AIの特徴や性質を知り、向き合い方を考える



この取組を市内に広めるために協力校につなぐ

最後はGoogleフォームで振り返りを実施

